

II 事業概要

1. 学術振興事業

(1) セミナー「現代科学・技術の最前線」第124回・第125回

当会では、昭和57年より賛助員の皆様を主対象として、最新の知識と情報を提供すべく、広い分野の中から関心の高いテーマを選び、標記のセミナーを開催して参りました。

本年度は、「画像センシング」と「医療・健康有機化学」の分野に注目し、下記の通り実施いたしました。

回	開催日	演 題	講 師	会 場
124	H30.7.20	『画像センシング技術の最前線』 開 会 講 演 1 「画像センシング技術の発展と 産学連携による実用化推進」 講 演 2 「現場を支える画像センシング技術」 閉 会	一般財団法人慶応工学会 常任理事 村上 俊之 慶應義塾大学理工学部電子工学科 教授 青木 義満 パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社 イノベーションセンター センシング事業統括部 センシング事業開発部 部長 田 靡 雅基	慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎2階 中会議室

〔追記〕 セミナー参加者：40名

回	開催日	演 題	講 師	会 場
125	H30.10.26	『医療・健康維持に向けた 有機化学の最前線』 開 会 講 演 1 「有機化学から見た 医療・健康維持の現状と問題」 講 演 2 「ポリアミンの生体内化学反応の可能性」 閉 会	一般財団法人慶応工学会 常任理事 西山 繁 明星大学 名誉教授 町並 智也 信州大学農学部農学生命科学科 助教 筒井 歩	慶應義塾大学 三田キャンパス 東館4階 オープンラボ

〔追記〕 セミナー参加者：20名

(2) 研究費援助

平成30年度研究費援助として、4件に総額1,000,000円支給。

(3) 国内学会出張費援助

平成30年度国内学会出張費援助として、26件に755,440円支給。

(4) 図書購入費援助

平成 30 年度慶應義塾大学理工学メディアセンター図書購入費として、200,000 円の援助を行った。

(5) 研究会合費援助

平成 30 年度研究会合費援助として、2 件に 100,000 円支給。

2. 国際交流事業

(1) 国外学会出張費援助

平成 30 年度 国際学会における研究成果発表のための国際学会出張渡航費援助として、11 件に 900,000 円支給。

3. 育英奨学事業

(1) 慶応工学会賞

平成 30 年度慶應義塾大学卒業式に際し、成績優秀者 7 名に賞状および記念品を授与。

(2) 給費奨学金

平成 30 年度給費奨学金を理工系大学院（前期・後期博士課程）の学生 9 名に 3,240,000 円支給。

(3) 育英奨学金

平成 30 年度育英奨学金を慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程の学生 3 名に 2,100,000 円支給。

4. 研究推進事業

(1) 平成 30 年度の委託研究契約は、30 件で、104,583,000 円であった。

（契約額の増額および期間延長を含む）

(2) 平成 30 年度の共同研究契約は、15 件で、26,080,000 円であった。

（契約額の増額および期間延長を含む）

(3) 平成 30 年度使用研究者指定研究資金としては、8 件で、8,040,000 円であった。

5. 学術普及事業

下記の通り、経済性工学セミナー開催に関わる事務を受託した。

(1) 第 51 回経済性工学セミナー

開催日：平成 30 年 11 月 30 日(金)～平成 30 年 12 月 1 日(土)

場 所：慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 2 階多目的教室 1

講 師：中村善太郎 慶應義塾大学名誉教授

河野 宏和 慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授

篠田 心治 成蹊大学理工学部教授

稲田 周平 慶應義塾大学理工学部准教授

参加者：27 名

(2) 企業からの依頼による経済性工学セミナー

企業名： 古河電気工業株式会社

開催日： 平成 30 年 11 月 15 日(木)

場 所： 古河電気工業株式会社本社(丸の内)

講 師： 中村善太郎 慶應義塾大学名誉教授

参加者： 27 名

6. その他

賛助員企業と慶應義塾大学理工学部との橋渡しを目的として、理工学部・理工学研究科学生総合センターの協力の下、今年度初めて「企業セミナー」を開催した。

開催日時：平成 31 年 2 月 18 日(月) 16:30 ~ 18:30

会 場：慶應義塾大学理工学部 14 棟地下 2 階「マルチメディアルーム」

主 対 象：慶應義塾大学理工学部 3 年生・大学院理工学研究科修士 1 年生

内 容：賛助員企業 3 社*による会社の概要および入社後の業務内容等について

* 日本電気株式会社、横河電機株式会社、日本アイ・ビー・エム株式会社

参 加 者：約 50 名

なお、当日は、上記 3 社以外の賛助員企業のパンフレット(全 50 社中 29 社分)を会場入口に展示し、学生達が自由に閲覧、入手できるようにした。

今回の結果をふまえ、今後も継続して実施することを検討中である。